

“紙岡聖子”って……知ってる？回帰した「同じ顔の女」の都市伝説。日常侵蝕ゲーム『紙岡聖子（仮）に関する研究』前編、9月19日（土）9時より公開！！

見つけたのか、見つけられたのか。

株式会社SANKYO（本社:東京都渋谷区 代表取締役社長 小倉敏男）は、ARGクリエイターSIM3氏と共同制作した日常侵蝕ゲーム『紙岡聖子（仮）に関する研究』の前編を、2026年9月19日（土）9時より公開いたします。

本作は、2025年12月25日に公開された『紙岡聖子（仮）に関する考察』と同じ世界観で描かれる新作です。前作をプレイした方はもちろん、未プレイの方も、本作単体でお楽しみいただけます。

なお、本作は、TVドラマ『相棒』などの脚本を手掛ける真野勝成氏の原案をもとに、ARGクリエイターのSIM3氏が原作・シナリオ・開発を担当しております。

『紙岡聖子（仮）に関する研究』



プレイヤーは、“紙岡聖子”と呼ばれる「同じ顔の女」について、実在するWebサイトで調査を行い、物語の真相を解き明かしていきます。

前作で閉鎖されたWebサイトが、時を経て再び公開され、プレイヤーはまたしても彼女にまつわる闇に飲み込まれていきます。

歴史に散りばめられた「同じ顔の女」——”紙岡聖子”。その名はあくまで仮称であり、誰もその正体を知らない。分かっているのは、同じ「顔」である事だけです。

あなたは、再び現れた記録をどこまで追うことができるでしょうか？

公式ランディングページ：<https://www.sim3.net/xkamioka/>

本作の特徴

★前作と同じ世界観で描かれる新作

本作は、『紙岡聖子（仮）に関する考察』と同じ世界観で描かれる新たな物語です。登場人物や作中の事件、物語は一新され、前作をプレイしていない方も、本作単体でお楽しみいただけます。

なお、前作を事前にプレイしていただくと、少し嬉しい発見や、にやり、とできる要素があるかもしれません。

前作スタートページ：<https://note.com/sim/n/n4e5ae759b007>

★Web上の記録を調査して真相に迫る

プレイヤーは、Webサイトに残された記事や記録、リンクなどを調査しながら、“紙岡聖子”をめぐる謎を読み解いていきます。複数の情報をつなぎ合わせ、物語の真相に迫る日常侵蝕ゲームです。

★3部構成で描かれる物語

本作は、プロローグ・前編・後編の3部構成となっております。プロローグは完全無料となっております、9月14日（月）から公開されております。前編・後編はそれぞれ有料となっており、Amazonもしくはnoteにて調査資料をお買い求めいただくことでプレイ可能となっております。

前編・後編の調査資料

前編・後編は、それぞれ調査資料をお買い求めいただくことでプレイ可能となっております。

前編は9月19日（土）から販売を開始いたします。Amazon KDP電子冊子については、すでに予約注文も受け付けております。note有料記事をお買い求めの方は、9月19日の販売開始まで少々お待ちください。

なお、Amazon KDP電子冊子とnote有料記事は、同じ内容となっております。ご自身がプレイしやすい形式をお買い求めください。どちらか一方のご購入で、前編がプレイ可能となります。



前編資料 概要

■発売日

2026年9月19日（土）9：00

■商品名

紙岡聖子（仮）に関する研究・封緘前編

■価格

2,200円（税込）

■販売形態

Amazon KDP電子冊子 ／ note有料記事

■販売URL

Amazon： <https://www.amazon.co.jp/dp/B0HCN6K4ZL>

note: https://note.com/sim_3

また、後編調査資料については、**10月1日（木）に発売予定**です。詳細は後日お知らせいたします。

東京ゲームショウ2026 6417ブースにて展示決定

2026年9月17日（木）～9月21日（月・祝）まで幕張メッセで開催される「東京ゲームショウ2026」の6417ブース（インディーゲームコーナー 09-C13）にて、「紙岡聖子」シリーズの展示を行い、「こんなところにも!? 紙岡聖子ポストカード」を配布いたします。

他にも、ミステリーゲーム検定「ARG入門編」も配布いたします。登録不要で、“ARGの入口”を体験形式でお楽しみいただける内容となっておりますので、ARGに触れたことが無い方も、ぜひブースにお立ち寄りください。



※画像はイメージです。実際とは異なる場合がございます。

©SIM3 ©6417 ©Katunari Mano/Kuroobi

”紙岡聖子”は神出鬼没…どの時代、どのイベントにも現れます。

開催概要

イベント名	TOKYO GAME SHOW 2026 / 東京ゲームショウ2026
会場	幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）
開催日時	■ビジネスデイ 2026年9月17日（木）・18日（金）10:00～17:00 ■一般公開日 2026年9月19日（土）・20日（日）9:30～17:00 21日（月・祝）9:30～16:00
出展社名	6417
ブース場所	インディーゲームコーナー 09-C13
公式サイト	https://tgs.cesa.or.jp/2026/exibition?word=6417&detail=555

※一般公開日は、状況により開場時間が早まる場合があります。

※入場にはチケット（有料）が必要です。

『紙岡聖子（仮）に関する研究』 作品概要

作品タイトル	紙岡聖子（仮）に関する研究
ジャンル	日常侵蝕ゲーム
クレジット	原案：真野勝成 原作・シナリオ・開発：SIM3 製作：6417 制作協力：株式会社ロータス
コピーライト	©SIM3 ©6417 ©Katunari Mano/Kuroobi
公式Xアカウント	SIM3公式アカウント
推奨ハッシュタグ	#紙岡聖子に関する研究
実況・配信について	実況・配信ともに可能となっており、収益化・ネタバレも問題ございません。 前編については、配信開始期間に制限がございます。詳細は こちら をご確認ください。

※ゲーム機やゲームアプリは使用せず、ブラウザのみでプレイいただけます。

※本作品はゲームであり、内容はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は全て架空であり、実在の人物・団体・名称等とは一切関係ありません。

SIM3について

SIM3は、Webを舞台に「知覚としての物語体験」を設計するクリエイティブユニットです。

代表”SIMさん”を中心に、企画から開発、運営までを一貫して手がけ、参加者が物語の一部となる体験を創出します。

『Vtuber失踪案件』などの作品を通じて、「知覚としてのミステリー」と「没入する物語」をテーマに、社会と物語をつなぐ新しい遊びの形を提案しています。



公式サイト：<https://www.sim3.net/>

クリエイターX：https://x.com/sim_CF

原案・真野勝成氏について

週刊誌記者を経て、第21回フジテレビヤングシナリオ大賞佳作入賞をきっかけに脚本家となる。

ドラマ『新参者』、『相棒』、映画『デスノート Light up the NEW world』など、ドラマ・映画を中心に幅広い作品の脚本を手がけています。

株式会社クロオビ：<https://www.kuroobi.black/>

6417について

「6417」とは、SANKYOによるコンテンツIP創出ブランドです。

主に日常の中の違和感や小さなドラマから物語へ踏み込む体験を、様々なクリエイターと共に製作しています。ARGなど新しいジャンルでの展開に積極的に挑戦し、ジャンルや形式にとらわれない新しいエンターテインメントを創出していきます。



公式サイト：<https://6417oculus.jp/>

主なコンテンツ

■SIM3

「紙岡聖子（仮）に関する考察」「reVtuber失踪案件」

■第四境界

「かがみの特殊少年更生施設」「人のゲームカセット」

■Cosmic Magic

「Cordelia JAZZ&COFFEE」

■マードーミステリー作品

チーム『本館三階一号』協業作品 「ワンフォーオール・オールフォーマードー」「きっと犯人じゃない」「姫Pray」

株式会社SANKYOのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/141077

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社SANKYO

事業企画部 佐藤

MAIL：pr-support@sankyo-fever.co.jp